



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 29 年 5 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



夢と希望を胸に、新たな学校生活！ 比布中学校入学式 4月6日

- 審議結果「3月定例会」…………… 2～3
- ここが聞きたい！一般質問…… 4～7
- 平成29年度予算審議…………… 8～11
- 委員会の活動報告…………… 12～15
- 議会のうごき…………… 16

第1回比布町議会定例会

平成29年3月6日～3月9日



平成29年第1回定例会は、3月6日から3月9日まで開催されました。
今定例会には、比布中学校校舎・武道場改築建築主体工事請負契約の締結をはじめ、平成29年度一般会計予算など、27件の議案審議を行い、すべて原案のとおり可決されました。
審議された概要について掲載します。

報告

◆専決した事件の報告
除雪作業車の接触事故による
6万6千960円の賠償報告
(損害保険適用)

工事契約

◆比布中学校校舎・武道場改築
(建築主体・機械設備・電気
設備)工事請負契約の締結
比布中学校校舎の老朽化に伴
う改築建築の工事請負業者を簡
易公募型指名競争入札により決
定し建築主体・機械設備・電気
設備ごとの契約締結について、
原案のとおり可決されました。

条例

◆比布町指定地域密着型サービ
スの事業の人員、設備及び運
営に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例
◆比布町指定地域密着型介護予
防サービスの事業の人員、設
備及び運営並びに指定地域密
着型介護予防サービスに係る
介護予防のための効果的な支
援の方法に関する基準を定め

る条例の一部を改正する条例
介護保険法の一部改正に伴う
地域密着型通所介護等の運営基
準の条文追加、改正で原案のと
おり可決されました。

◆比布町小規模企業振興条例の
制定

町内の小規模企業の振興、地
域経済の活性化及び豊かな地域
社会を実現するため、町の責務
や商工会の役割等を規定したも
ので、原案のとおり可決されま
した。

◆比布町特定個人情報保護条例
の一部を改正する条例

◆比布町個人情報番号の利用及び特
定個人情報の提供に関する条
例の一部を改正する条例
行政手続きにおける特定の個
人を認識するための番号の利用
等に関する法律の改正に伴い、
条文の追加改正を行うもので、
原案のとおり可決されました。

◆比布町人事行政の運営等の状
況の公表に関する条例の一部
を改正する条例

人事院給与勧告等に基づく改
正を行うもので、原案のとおり
可決されました。

◆職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
人事院給与勧告及び勤務時間法の一部改正に伴う改正で、原案のとおり可決されました。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
人事院給与勧告及び地方公務員の育児休業法改正に伴う改正で、原案のとおり可決されました。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
組織機構の見直しによる職名の追加に伴う条文改正で、原案のとおり可決されました。

◆比布町税条例等の一部を改正する条例
地方税法改正に伴う軽自動車税（軽課）の1年延長、消費税増税時期延長に伴う軽減税率の延長等で、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成28年度比布町一般会計補正予算（第9号）
びっぷスキー場センターハウス

ス「スキップ」の建設工事費減額に伴う一般会計繰出金9千795万7千円の減、新団地（緑町）建設事業費1千165万5千円の減等、年度末による精査が主な補正で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定）（第4号）
一般被保険者療養給付費負担金1千980万円を増額する等の年度末精査で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
後期高齢者医療広域連合納付金91万1千円の減額で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町介護保険特別会計補正予算（第2号）
介護サービス給付費1千133万1千円を増額する等で原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町観光事業特別会計補正予算（第1号）
びっぷスキー場センターハウスの建設工事費を含む、スキー

場運営事業費4千385万7千円を減額する等の年度末精査で原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
簡易水道等設備事業1千59

●●●●●●●● 会計補正額と補正後の総額 ●●●●●●●●

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計（第8号）	794,473千円	5,203,919千円
（第9号）	△275,106千円	4,928,813千円
国民健康保険（第4号）	11,898千円	671,814千円
後期高齢者医療（第2号）	△911千円	61,054千円
介護保険（第2号）	7,067千円	586,790千円
観光事業（第1号）	△45,857千円	733,055千円
簡易水道事業（第3号）	△19,516千円	229,295千円
公共下水道事業（第4号）	△4,509千円	106,705千円

() 内は補正回数

1万5千円の減額等で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
下水道事業関係費296万円を減額する等の年度末精査で、原案のとおり可決されました。

第1回臨時会

2月 7日

◆平成28年度比布町一般会計補正予算（第8号）
比布中学校改築事業（第一工区分）7億9千380万円、地域介護・福祉空間整備推進事業92万7千円、商工振興事業101万3千円をそれぞれ増額し、原案のとおり可決されました。

第2回臨時会

3月 30日

◆平成29年度比布町一般会計補正予算（第1号）
米穀等生産振興事業1億430万円を増額し、原案のとおり可決されました。



Q

コミュニティスクールの取り組みについて

A

教育ニーズに対応できるように

小中学校と十分に議論した上で

コミュニティスクールを進めたい

植西議員 コミュニティスクールの取り組みについて質問いたします。

多様性を持つ子どもたちを見守り、その特徴を伸ばすには、多様性を理解し、具体的に何を伸ばすのかを相談できる環境が必要で

子どもたちと社会を結び付ける取り組みとして、学校運営協議会を設置し、社会全体が教育環境を創り出すコミュニティスクールに移行するご意思があるのかをお尋ねいたします。

伊藤町長 比布町教育支援委員会委員による継続的な見守り活動やスクールカウンセラーの継続配置など多様な教育ニーズに対応できるよう努めてまいります。

また、現状の中で、不安や戸惑いを取り除くためには地域と学校がパートナーとして連携することが重要であり、この制度は地域全体で教育のあり方を考

えていくことができるものであり、地域全体を最大の応援団にしていくことができれば、※インクルーシブ教育の充実にもつながっていくと考えております。

植西議員 インクルーシブ教育を考えたときに今後のスクールカウンセラー、それからスクールソーシャルワーカーの学校の関わりをどのように考えていますか。

伊藤町長 専門的な知識を持つているだけでは対応が難しいケースもあります。むしろ、地域が学校の応援団になって、いろいろな提言をしていくことも必要だと思えます。

コミュニティスクールはそういうことができる仕組みだと思っています。しっかりとした形で進めていくことが大切だと思っています。

学校に関わる人は、より専門的な知識を得ようとする努力をしてほしいと思います。

植西議員 コミュニティスクールを運用している地域では、学校応援団という形で運営した場合、上手くいっているようです。学校応援団という言葉聞いて町長はどのように思われますか。

伊藤町長 コミュニティスクールは子どもたちの応援団であるべきでないかと思っております。

植西議員 キャリア教育の一環としての子どもたちへの応援団であること、また教師のワークライフバランスへの支援という位置付けも必要です。具体的には部活動指導などへの支援があげられます。もし、この支援に関して問題点があればどんなことがありますか。

伊藤町長 キャリア教育の間がもつと多くあれば良いのですが、学校のカリキュラムの関係から、そう多くは取れないと思います。しかしながら、いろ

いろと職業を体験しなくても、こういった職業があるのかの情報を得られることが必要かと思っております。

またインターネットを活用すれば学校内でもハローワークの情報にアクセスできるのではないかと思えます。

やれることについては、やっていきたいと思っております。

植西議員 「比布中の教育」に子どもたちを育てる環境づくりの推進とあります。

また、「小中連携、地域連携を深化させ、生きる力を育む学校づくりを進めます」というふうにも書いてあります。これはコミュニティスクールを推進しようということだと思えます。そして、地域との連携が必要だということも認識されていると思えます。

伊藤町長 校長、教頭は理解されていると思いますので議論を十分にした上で、町としてもコミュニティスクールを進める考えです。

※インクルーシブ教育とは障がいを持つ、持たないで隔ることなく育てる教育環境のこと。障害者差別解消法が施行され、あらゆる施設・事業所に合理的配慮が義務付けられた。



遠藤議員 就学援助制度は経済的な困難を抱える子どもにも義務教育を保証するための命綱です。「子どもの貧困」が広がる今こそ就学援助制度を強めることが求められています。

国は、「子どもの貧困」とは世帯所得の中央値の50%以下の層を貧困と定義しています。2009年度の場合、一人世帯の場合で中央値は250万円ですが、このラインを貧困線といいます。このライン以下の所得の世帯に属する子どもが17歳以下が何%であるかというのが子どもの貧困率です。2012年の「子どもの貧困率」(17歳以下)は16.3%となっています。6人に一人の割合です。

2017年度政府予算案の「要保護世帯」は、生活保護世帯と同程度に困窮している世帯に対する就学援助のうち、新入学児童生徒に対する入学準備費用の国の補助単価が、小学生が現

在の2万470円から4万600円に、そして中学生が2万3千550円から4万7千400円にそれぞれ引き上げられる予定です。

保護者へ配布されている就学援助申請の入学準備金の支給を年度が変わり4月になっていたのを、全国で入学前に支払う自治体が大変増えています。父母負担の軽減としても全道でも支給が早まってきています。比布町でもその検討を考えているのか教育長に伺います。

谷教育長 就学援助制度は、学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学童児童生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助を与えなければならぬ」と規定されています。

また、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備されるとも

に、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が平成26年1月17日に施行されています。

市町村が行う援助のうち、要保護者への援助に対しては、国は、義務教育の円滑な実施に資することを目的として、必要な援助を行っていますが、要保護者に対する就学援助については、平成17年度より国の補助が廃止され、各市町村が認定基準を規定して単独で実施しています。

平成25年度の要保護及び準要保護児童生徒数は北海道では、都道府県で4番目に高い23.06%となっています。

本町においては、すべての就学援助費目と町単独で学校給食費を含めて支給し、平成25年8月から段階的に生活保護の支給基準の引き下げが行われましたが、生活保護基準の見直しに伴

う影響がないよう対応してきました。昨年は、新入学児童生徒学用品費を4月28日に支給をしています。

保護者の入学準備に関する経費負担を軽減するという給付の趣旨に鑑み、新入学児童生徒の認定事務を優先することや、正式な認定の前に仮認定を行うなど、早期支給のための工夫を行っている市町村もありますので、本町でも援助を必要とする時期にすみやかに支給するよう十分な配慮が必要であり、早期支給に向けて前向きに検討を進めます。

遠藤議員 就学援助の認定基準が、以前1.3倍から1.2倍に下がりましたが、今回の教育長の執行方針では1.3倍に上げるということですので、受けられる人が多くなると思いますが。援助を受けられる費目と支給予定額と就学援助認定の目安としての家族世帯構成、認定標準基準予定額などが書かれている文書の配布を入学後の4月にしてはどうですか。

谷教育長 周知を徹底するということですが第一だと思えますので早期に検討していきます。

Q

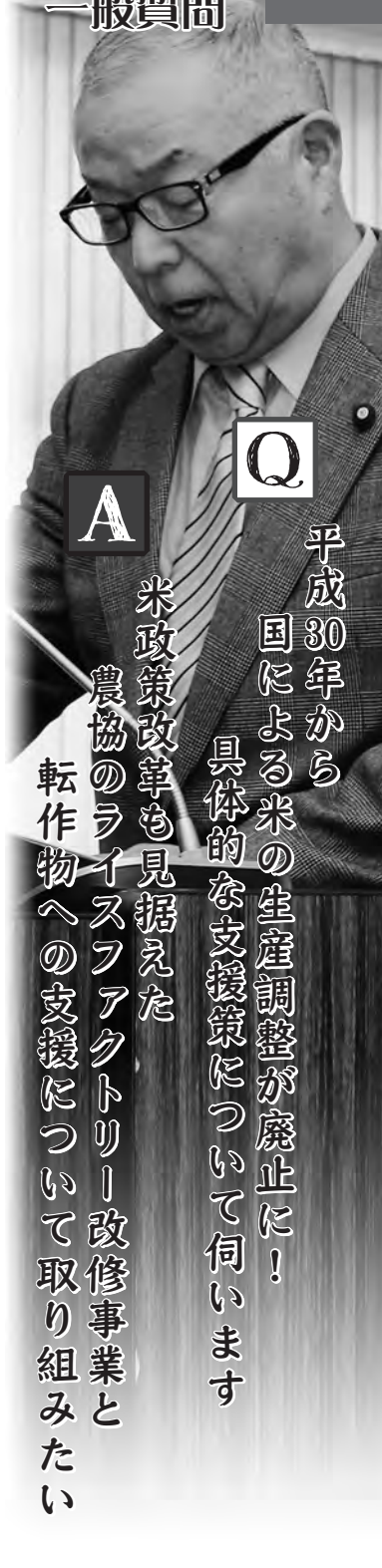
就学支援制度の

入学準備金の早期支給を!

A

手続き方法を工夫し、

早期支給に向けて検討したい



Q

平成30年から

国による米の生産調整が廃止に!
具体的な支援策について伺います

A

米政策改革も見据えた
農協のライスファクトリー改修事業と
転作物への支援について取り組みたい

中本議員 平成30年から国による米の生産調整が廃止となります。

現時点では、生産量2位の北海道、3位の秋田県、他34の都府県の農業再生協議会が生産の目安となる指標を示す意向であり、生産量1位の新潟県は、検討中であると答えています。

さて、本町の基幹産業である農業も平成30年以降を見据えた対策が必要と思われます。

特に、水稲は品質や食味の向上はもちろんです。生産基盤の整備が急務と思われます。

本年、JAぴっぷ町では「ライスファクトリー」の改修を計画しています。

町長の平成29年度の町政執行方針の中で「ライスファクトリーの改修は高品質の販売や生産コストの低減など、農業者の所得拡大が期待できるものであり、米産地の一層の確立に向け、施設の改修に支援いたしま

す」と述べられています。具体的にどの程度の支援を考慮されるのか伺います。

また、「転作物などの関連施設での対応も必要である」と述べられています。転作物に対する施策もあれば、具体的に聞かせ願います。

伊藤町長 本格的に生産調整が始まって以来、40年が経過し、水田農業は今まさに転機を迎えようとしています。

北海道では、30年度以降においても米価の安定による農業所得の確保や北海道産米の安定供給を目的に生産数量目標に代わる指標として「生産の目安」を設定する考え方が12月に示されました。

今後は、生産の目安の実効性を確保する観点から、北海道及び地域の「農業再生協議会」の役割が一層重要になってくるものと考えています。

このような中、30年以降の米

政策改革も見据えた農協のライスファクトリー改修事業は国の補助事業により施工されるもので、現在、事業採択に向けて事務が進められています。

改修への支援につきまして、補助対象経費のうち、自己負担分の一部について、支援したいと考えています。

転作物への支援は、地域農業再生協議会で活用を決定する産地交付金を中心とし、町単独事業として畑作物における農作業受託や青果物の振興、農地流動化対策などに支援しています。

しかし、高齢化や大規模化、農地集積の課題など、さまざまな角度から現状を把握し、課題解決に向けた議論を関係者とともに十分に行い、将来の比布町の向うべき方向を定め、既存事業を見直すことも必要だと考えています。

中本議員 本町は道産米のエリア「ゆめぴりか」発祥の地で

もあり、ライスファクトリー改修について多くの支援をすべきと考えます。

しかし、他産業との公平性なども考えて判断しなければならぬと思います。金額を決めるの支援なのか、国の補助残に對しての支援なのか、伺います。

伊藤町長 今、基本的に考えているのは、国の補助残に対する率で考えています。

本町の基幹産業であるということも含めて判断しなければならぬと思いますが、補助残に對して50%を考えています。

時期が来ましたら補正予算として提案いたしますので、十分審議くださるようお願いいたします。





今井議員

比布町に暮らす高齢の皆様は移動支援事業については今までも多くの意見や議論がありました。現在、保健福祉課で行っている「びびたく事業」に該当しない多くのご高齢の皆様と、今後、高齢となられる町民の方々が安心して町内で暮らせるためには、移動支援事業は欠かせません。そこで関連も含めて何点が質問と提案をさせていただきます。

①現在、町内で利用できる道北バス、JRの今後も含めた運行状況と現在の高齢利用者数について、②びびたく事業の利用状況と車両・人件費等を含めた運行管理費と事業の総括、③比布町の高齢者ドライバーの把握、事故等の防止策、④本町の移動支援事業の必要性と町政策においての重要度、⑤他町、他地域で行っている民間活用事例について、過去に行った質問において「どのような要望があるか調査をしてまちづくり計画

を進めたい」と答弁をしていますが。

高齢者移動支援事業を行うのかを伺います。

伊藤町長 高齢者の移動支援事業につきましては、これまでも多くのご意見や議論をいただいているところです。今後さらに高齢化が進展することにより移動手段や交通の問題を抱える方々が増えることが予想され、町民の皆様が安心して暮らす支援対策は重要な課題と認識しています。

①について、比布駅利用者は1日10人以上で学生・社会人の定期購入者が主な利用です。道北バスの利用者は、名寄方面が年757人、旭川方面が年4千931人となっています。町内高齢者の利用は大きな比率ではないようです。②については、登録者が115人、平成27年度利用実績が延べ1千100人、運営経費は臨時職員1名分の賃金226万円、燃料費が

年、約10万円です。③については現在、町内の運転免許証所有者数は2千552人で、うち65歳以上の所有者は860人

(33・7%)です。近年、高齢者ドライバーの事故が社会問題になっており啓発活動や老人クラブに出向き注意喚起などを行っています。

④の重要性については、支援対策が必要と認識しています。⑤については、それぞれの地域において移動支援の取り組みがされておりますが財源の問題で行政としてやれることが限られ、持続性や安全面の確保などの課題もあるようです。

今井議員 現在の「びびたく事業」は行政が行うことにより公平性を保つことは当然と理解はしますが、それが逆に妨げになっていると考えますが、どう思われますか。

伊藤町長

福祉目的で始めた事業ですので不公平感はないと思いますが、実態として「なぜ利用できないのか」との思いが

町民の中にあり、基準から外れる方にしてみれば不公平だということになるのかもしれませんが。

今井議員 ある自治体のタクシーを利用した取り組みを伺ってきました。運用により町内施設の利用が伸び、高齢者の免許証の自主返納が増えているようです。町として緊急を要すると判断した結果のようです。本町はいままで議論し、いつ、具体策を示しますか。

伊藤町長 びっぷくりニツクや福祉バス、スクールバスなど移動手段はありますが、利用できない方は不便だと思います。利用される方がどのような活用を求めているのか把握し、方向性を見いだしていこうと思います。

今井議員

本町は移住定住、交流人口の支援に重きを置いています。確かに大事なことです。私は現在比布町にお住まいの方への支援も大事だと思いますが、町長の考えを伺います。

伊藤町長

いつまでもこの住み慣れた町に住んでいただくことが最良だと思っています。町としてどこまでやれるのか、やるべきなのか、町民と一緒に町づくりを進めたいと考えます。

Q

高齢者移動支援事業の実施に向けて

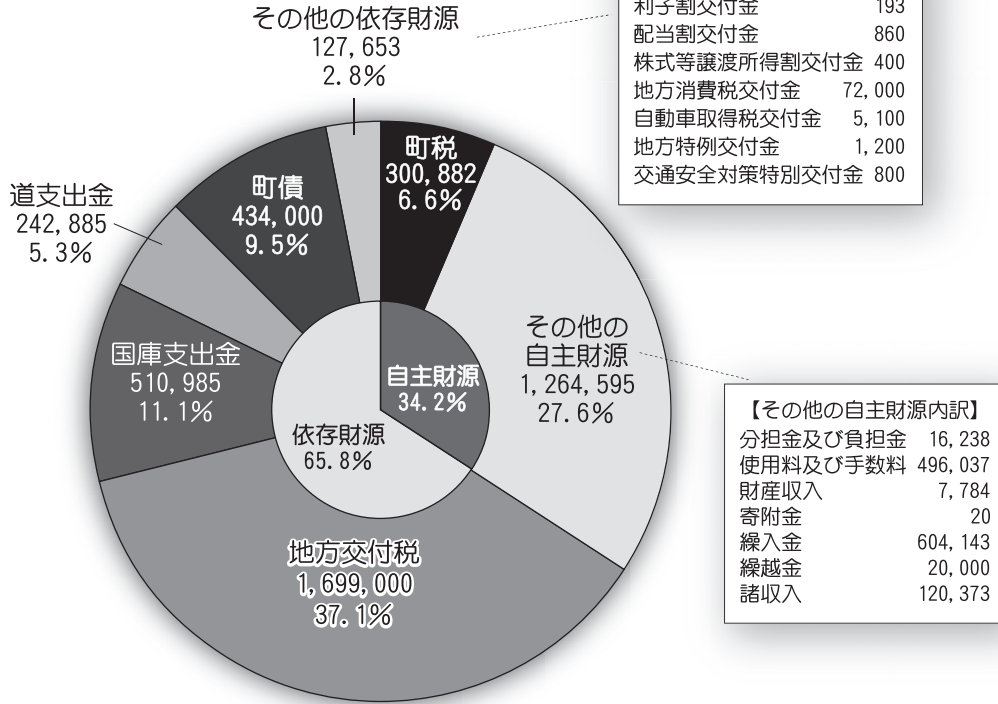
A

利用者がどのような活用を求めているのかを把握し、方向性を見いだしていきたい

予
算
審
議

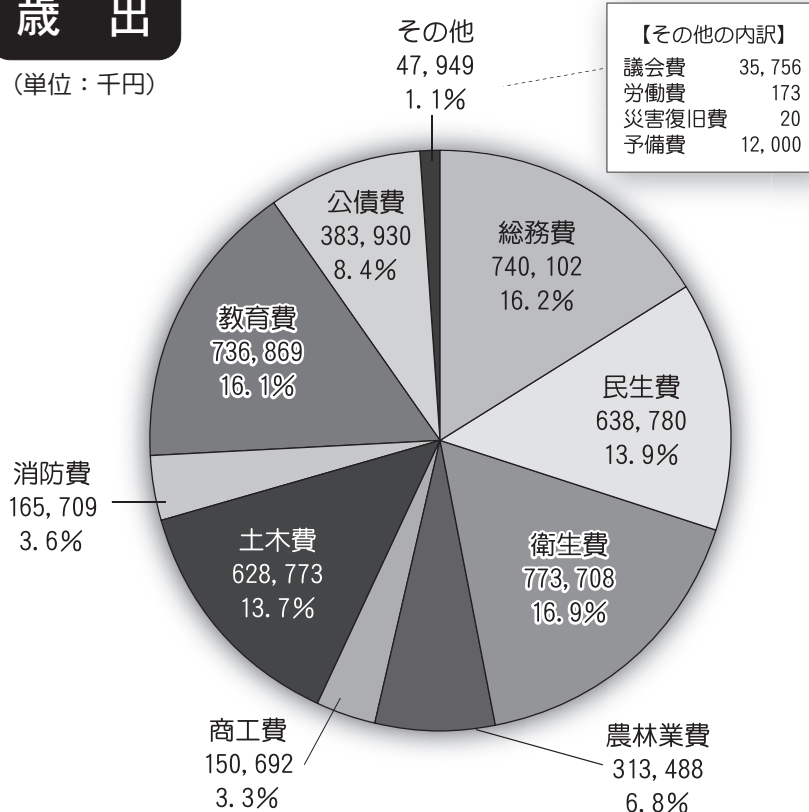
歳入

(単位：千円)



歳出

(単位：千円)



一般会計歳入歳出予算
45億8千万円



予算総額 63億9千270万6千円 平成29年度当初予算を可決

新年度予算について、議長を除く議員7人で構成する予算特別委員会（委員長 中本 諭）を設置し、3月8日、慎重に予算審議を行いました。

定例会最終日の3月9日、中本委員長から「委員会として平成29年度予算を採択すべき」との審査結果報告があり、本会議で採択の結果、総額63億9千270万6千円の予算を原案のとおり全会一致で可決しました。

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	4,580,000千円	4,230,000千円	8.27%
国民健康保険特別会計	667,524千円	657,090千円	1.59%
後期高齢者医療特別会計	61,720千円	61,945千円	△ 0.36%
介護保険特別会計	585,000千円	564,366千円	3.66%
観光事業特別会計	111,000千円	778,912千円	△ 85.75%
簡易水道事業特別会計	288,303千円	242,911千円	18.69%
公共下水道事業特別会計	99,159千円	96,714千円	2.53%
合計	6,392,706千円	6,631,938千円	△ 3.61%

一般会計【歳入】

町税関係

山内委員 町民税の普通徴収分が昨年より600万円程度増えている要因は何か。

税務住民課長 農業所得の増が一番大きい要因です。

使用料関係

今井委員 公営住宅使用料、特別会計の使用料は別として使用料全体について、町民サービスの分だと思っていますが、町としての考え方は。

伊藤町長 町民のみなさんに利用していただくための施設であり、健康増進などのため、安い使用料で使ってもらうのが根本で、町民サービスの一環として必要と思う。

国・道支出金関係

植西委員 教育費の中でALITに対する補助金はあるのか。JETプログラムの補助についてお聞きしたい。

生涯学習課長 補助金はありません。JETプログラムの場合は交付税に算入されるが、今回本町の場合はJETではありません。

寄付金関係

植西委員 ふるさと納税の増収を確保するための策を検討していますか。例えば返礼品を海沿いの町とコラボして開発するなどとも考えてみる必要があるのでは。

総務企画課長 比布を思う気持ちを大切にしてきた。一步前への対応も検討している。具体的にはインターネットの活用やPR活動、同郷会への協力要請。

伊藤町長 返礼品の競争になつてきているような気がする。ふるさと納税は本来、比布町を応援したいという人が納税をしてくれるものと思つている。

一般会計【歳出】

総務費関係

佐藤委員 駅の駐車場の駐車スペースからスロープまで35段、障がいをお持ちの方から利用しづらいとの話を聞いた。スロープ周辺に駐車スペースの設置を早急に対応できないか。

総務企画課長 以前より利用しづらいとの意見もある。夏場に向けて再検討したい。

今井委員 農工団地の指定解除はどうなったか。周辺で農地

取得の例がある。早急の対応が必要。

総務企画課長 農地に戻す協議をしているが相当な期間がかかる。農振指定解除に要件必要。スピード感をもつて対応したい。

民生費関係

遠藤委員 保育料軽減の同一世帯で2人以上いる場合の第1子の年齢の取り扱いは。

保健福祉課長 国の軽減措置が28年度に改正され、今年4月からもさらに変わる予定です。2人目半額、第3子以降無償となり従来の年齢制限がなくなる。

山内委員 社会福祉協議会補助金の増額理由と主な活動内容を伺いたい。

保健福祉課長 介護保険事業スタート以来、町の事業の補完と介護保険事業所として機能。今回は主に人件費の増で社協の機能強化も目的としている。今後介護保険利用者の増も見込まれる中、社協の役割がますます重要になる。なお、29年度は職員を1名採用することになっている。

衛生費関係

今井委員 ぴっぷクリニックのX線を更新する目的と補助の理由を伺いたい。

保健福祉課長 X線が使用できなければ患者さんの医療処置に停滞が及びますので、耐用年数の経過により、更新に対して補助するものです。

今井委員 それぞれ町民の方がかかりつけ医を持つている中で、ぴっぷクリニックだけに過度な支出をすべきではないと思つていますし、医療連携というものを考え、地域医療として見直す時期に来ていると思つています。

伊藤町長 町内にクリニックがあるということが安心材料の一つであると思つていますし、先生は地元の医師として患者さんをしつかりと診たいという思いを持っています。そのためには、一定の機器を備えなければならぬと思つています。ただ、クリニックには限界がありますから限界を超える部分については、しつかりと旭川の病院と連携するということが必要ですし、これからいろいろと議論をした中で進めていきたいと思つています。

農林業費関係

佐藤委員 交流促進施設費の町民利用促進分として150万円計上されているが、少し物足さを感じる。ぜひ、町民も地元

に住んで良かったと感じられる事業に育てていただきたいと思つています。ぜひ、町民一人ひとりが産業振興課長

町民一人ひとりがセールのスマンとしてPRいただきき予算以上の利用を期待したい。

伊藤町長 宿泊一人千円の助成は大きいと思つています。やつてみて意見を伺いたい。

商工費関係

遠藤委員 ほくれいロジ旧館の解体を予定しているが、建物を自衛隊が使用すると聞いている。どのような話し合いがされているのか。

産業振興課長 28年度冬季は、自衛隊の訓練時に利用してもらつている。引き続き利用してもらいたい。

土木費関係

佐藤委員 北1線道路路盤改良工事と除雪車両購入は土木費交付金から包括配分されるが、雪寒機械購入が連続すると改良延長が縮小され、近隣住民に負担が集中し、施工経費も割高となる。機械購入の年度を調整できないか。

建設課長 除雪機械も老朽化し、出力不足が懸念される。交付金の配分割合は十分精査し

たい。

伊藤町長 29年度の予算査定段階では除雪車優先とすることとした。地域の皆さんにご迷惑をかけている部分もあると思っておりますので、来年以降は長い延長で改良できるように進めていきたいと思えます。

消防費関係

佐藤委員 消防職員の充足率、どの程度の位置付けか。比布消防としての緊急課題はなにか伺いたい。

消防署長 職員は比布、愛別は15名、旧上川中部消防組合では定数17名態勢となっていたが、現状の体制で問題ない。

教育費関係

遠藤委員 高校生の就学支援金の中身と支給までの流れと支援金の対象者はどうなるのか。

生涯学習課長 4月の広報紙に折り込み、ホームページでの周知、4月中申請なるべく早く支給したい。住民基本台帳に登録がある人で、高校生、高専は3年生までです。

植西委員 ALT490万円の中身は、学校とどの程度かわるのか。

生涯学習課長 すべてを含めた金

額。1日6時間未満、土日休みで月曜から金曜日まで。中学校週3日、小学校週1日、教育委員会勤務週1日。

国民健康保険会計【歳入・歳出】

八巻委員 高額医療は昔の脳外科手術、心臓手術等で最近では、C型肝炎、がんのオプジーボ治療費も高額となってきたが、地方自治体では、このままやっていけば保険事業が破たんするかもしれない。しっかりと国に対して声をあげていく必要があるのでは。

保健福祉課長 本町内でもそのような投薬を受けている方がいますが、生命を守るという観点で考えれば当然必要な処置だと思ふ。今後も予防対策に力を入れ、国の動向も見ながら町が出来る対応というものをしっかりとつていきたいと思えます。

後期高齢者医療保険会計【歳入・歳出】

遠藤委員 普通徴収の滞納額6万8千円とあるが、保険証はでないのか。保険料が段階的に上がり、手取り額が少なくなっている。もっと周知するべきだ。

保健福祉課長 保険証は発行して

いる。前期高齢者から後期高齢者に移行する場合、引き落としされない場合がある。広報紙等で周知したい。

介護保険会計【歳入・歳出】

遠藤委員 認知症支援チームの具体策は。3人体制の中身は。保健福祉課長 認知症サポート医としてぴつぷくクリニックの医師に内々に依頼し、研修受講もお願いする予定です。

観光会計【歳入・歳出】

八巻委員 リフト収入、28年度は補正して8千万円、29年度は8千800万円計上の考え方は。遊湯びつぷとの相乗効果も期待しているが、どのように展望していくか伺いたい。

産業振興課長 リフト収入は目標として計上。良佳村ゾーン全体で考えるべきで関係者と協議の場を設ける考えです。

簡易水道会計【歳入・歳出】

植西委員 企業会計導入は難しいと思うが、国は平成32年度までに民間活力導入を要請していますが広域連携での事業はで

きないか。

建設課長 現在のところ、民間活力導入の予定なし。事務レベルでの学習会では、広域化については更新時期が各町異なり難しいと考えています。

総括質疑

今井委員 昨年はスキー場がリニューアルされてスキー場はアピールができたが、「スキーとイチゴの町」のイチゴへのこだわりはあるが、現状は厳しい状況です。長期的なイチゴ農家の育成を考えているか。

伊藤町長 こだわりはあるが、現状減少傾向。ただ高設であれば重労働でもなくなった。今季は2名の若い人がイチゴに参入してきたので、期待したい。

佐藤委員 中学校改築事業をしっかりと管理監督し、良いものを完成してほしい。また、新たにできる職員機構と施設が融合しながら29年度予算が町民にとって有効な予算執行となるよう全力で取り組んでほしい。

伊藤町長 議員の皆さんのお力添えもいただきながら、職員共々しっかりと対応していきたい。

委員会の活動

activities

総務常任委員会

2月21・22日開催



佐藤 委員長

【税務住民課】

《報告事項》

■平成28年度町税等の調定及び収入状況について（1月末現在）

・町民税

1億1千616万5千

920円

収納率77・47%

（以下〓収納率）

・固定資産税

1億964万2千540円

82・36%

・軽自動車税

1千251万9千263円

97・51%

・たばこ税

2千307万3千252円

100%

・国民健康保険税

9千687万67円

66・80%

・介護保険料

8千33万1千900円

98・32%

・後期高齢者保険

2千940万3千500円

92・35%

■上川広域滞納整理機構について（1月末現在）

引受金額・件数（18件）

643万4千513円

収納金額

417万9千230円

64・95%

■個人番号カード交付状況

（1月末現在）

平成28年度交付状況83枚

交付累計193枚

《協議事項》

▼比布町税条例等の一部改正（案）について

平成28年度一般会計補正予算（案）について

賦課徴収費 △33万1千円

徴収事務経費及び委託料の減

繰越明許費 30万3千円

（住民基本ネットワークシステム事業）

（平成29年度一般会計予算（案）について）

その他

【保健福祉課】

《協議事項》

▼平成28年度一般会計補正予算（案）について

□福祉係（一般会計）

・老人福祉費 △148万円

（生活支援サービス・緊急通報システム 他）の減

・障害者福祉費 504万8千円

（医療扶助費 他）の増

・児童措置費 △253万円

（保育所措置事業の減）

・繰越明許費 1千549万6千円

（経済対策臨時福祉給付金給付事業）

その他

□保健係・衛生係

・保健衛生総務費 △774万4千円

（簡水事業特別会計繰出金の減）

・環境衛生総務費 272万8千円

（衛生業務事業・廃棄物処理事業の増）

予防費 △364万7千円

（町民総合健康診査事業・妊婦検診 他）の減

※毎年保健福祉課では、町民皆様の健康増進を図るため、多種の診断を行っています。ぜひ、この機会を有効にご利用いただき、ご自身やご家族の健康管理にお役立てください。

□介護保険係

▼平成28年度介護保険会計補正予算（案）について

・介護サービス給付費 1千133万1千円

（利用者の増）

・包括的支援事業費 △139万7千円

（生活支援体制整備事業の減）

・任意事業費 △103万6千円

（家族介護支援事業・成年後見制度利用支援事業の減）

その他

・特定健康診査等事業費

△140万円

(特定健康診査等事業費の減)

・予備費 143万5千円

・保険医療費

△911万2千円

(後期高齢者医療広域連合関係経費・重度心身障害者医療費支給事業 他の減)

・その他

▼平成28年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(案)について

・後期高齢者医療広域連合納付金 △91万1千円

(既定予算の減)

・その他

▼介護保険条例の一部改正条例(案)について

・比布町指定密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

ほか1件

▼平成29年度保健福祉課関係予算(案)について

【生涯学習課】

《報告事項》

■平成29年度児童生徒数と学級編成数について

・比布中央小学校
1年生23名・2年生20名・3

年生24名・4年生35名・5年生18名・6年生25名

計145名

普通6学級・特別支援4学級 計10学級

・比布中学校

1年生25名・2年生32名・3年生27名 計84名

普通3学級・特別支援3学級 計6学級

▼全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

▼平成28年度「君の夢プロジェクト」推進事業の経過について



銀メダリスト・平野選手の実技指導

・全5部活終了

総事業予算290万円

全実施額283万円

・剣道部(6月)、野球部(7月)、吹奏楽部(7月)各実施済み

・ソフトテニス部

(11月17、18日開催)

ヨネックス森田祐哉選手からの技術指導

参加者23人・顧問3名

事業費8万6千円

・卓球部

(11月13日開催)

ロンドンオリンピック銀メダリスト平野早矢香さんの講演・技術指導

参加者・部員8名・顧問2名・少年団員6名

事業費41万4千円

《協議事項》

▼平成28年度補正予算(案)について

・事務局費 △154万1千円
臨時雇用賃金(英語指導助手) 他の減

・小学校学校管理費

△151万4千円

(燃料・光熱水費 他の減)

・中学校管理費 △170万円

(光熱水費の減)

・青少年会館管理費

△132万円

(放課後児童健全育成事業・臨時雇用賃金 他の減)

・運動公園管理費

△146万6千円

(光熱水費 他の減)

▼平成29年度教育費関係予算(案)について

【総務企画課】

《報告事項》

・第1回定例会提出議案について

・平成29年度地方財政対策について

・平成29年度各会計当初予算(案)について

《協議事項》

▼行政機構の変更について

地方創生の時代に即した体制整備の構築のため、平成29年度4月から総務企画課内に「まちづくり推進室」を設置し、室長1名、地域政策係に係長1名・係1名、広報係に係長1名・係1名、統計係は広報係兼任となります。

▼平成28年度補正予算(案)について

・議会費 △243万8千円
(欠員による報酬及び手当・事務費の減)

・一般管理費

△183万7千円

(情報化促進事業 他の減)

・財産管理費 843万円
(基金積立金事業の増)

・企画費

△1千494万5千円

(移住定住対策事業・工事請負費 他の減)

△590万円

・諸費

・その他

▼条例等改正(案)について

・行政機構の変更に基づく条例・規則等の改正

・特定個人情報保護条例に基づく条例の改正

・人事院給与勧告等に基づく条例・規則の改正

▼平成29年度総務企画課所管

予算(案)について

・職員給与費の状況について

・移住定住対策について

(補助金624万円)



新町に完成した民間住宅

目的…人口減少が加速する

中、比布町への移住・定住

政策のターゲットである子

育て世代に民間集合住宅家

賃補助を実施することで、

同世代の移住・定住を促進

する。

対象者…45歳以下の単身者及

び同世帯・中学生以下の子

どもがいる世帯。

補助内容…月額1万円を翌年

度の4月中に一括して支給

する。

補助期間…平成29年4月から

平成32年3月まで

・景観継承事業(駅舎)

交流スペース開店時間の変更

現行10時～19時を7時～9時

(9時～10時は開店準備のため、

一旦閉店)その後10時～19時

管理委託料…現行6万円↓

7万5千円/月額

イベント等での時間外使用料

19時以降千円/毎時

平成29年4月以降の実施

全員協議会

▼▼▼2月7日開催

■第1回議会臨時会提出議案に

ついて

産業建設常任委員会

▼▼▼2月27日開催



今井委員長

【商工・観光部門】

《報告事項》

■平成28年度「びっぷすスキー場」

リフト収入状況

4千941万6千563円

前年度76・79%

(1月31日現在)

新たなセンターハウスの設置

に伴い利用者は増加、シーズン

券の前売りも好評でした。1月

は近年、過去最高の来場者でし

たが伸び悩みも。

■「遊湯びっぷ」入館者数実績

1万2千3人

前年度89・2%

ビジネスプランの利用が好評

《協議事項》

▼比布町小規模企業振興条例の

制定

▼平成28年度補正予算

グリーンパークびっぷ使用料

の減

当初予算688万9千円

△156万円

リフト使用料の減

当初予算8千800万円

△800万円

▼平成29年度予算(案)につい

て主なもの

・観光パンフレット作成

・大型バスの修繕

・旧ほくろいロッジ解体改修工

事

・第6リフトモーター・減速機

オーバーホール等

▼比布町観光施設経営戦略につ

いて

良佳村エリアのリニューアル

計画を次年度検討

【農林部門】

《報告事項》

■平成28年度 米集荷状況につ

いて

主食米、加工米、備蓄米合計

11万1千767俵

(2集荷業者計)

■平成29年産米の生産数量目標

について

■平成30年産以降の米政策改革

への対応について

生産の目安は北海道及び地域の農業再生協議会が主体となり設定・推進する。
情報がまだ少ない状況です。

《協議事項》

▼平成28年度補正予算

営農活性化融資事業等、補助額の確定により減額

▼平成29年度予算(案)について
主なもの

後継者居住支援の廃止、拓進地区整備事業、町有林皆伐事業、森林管理システムの導入等

【建設課】

《報告事項》

■専決処分

排雪作業中の事故の報告

■諸工事の発注及び進捗状況について

みどり町団地A棟建築主体工事等旧団地解体

《協議事項》

▼平成28年度補正予算

道路新設改良事業の減
△4千341万6千円

耐震改修促進事業の減
△900千円

▼簡易水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略について

簡易水道

10年間で人口が531人減少したにもかかわらず、給水人口が113人の微減で止まっているのは普及率が向上した役割が大きい。今後の普及率向上継続が非常に大切である。

下水道

使用料の見直しに関して定期的に行っており必要に応じて改定を実施し、これまで通りの対応を行うものとする。

▼平成29年度予算(案)について
主なもの

北1丁目道路緑石取替工事、除雪トラック(10ト級)購入、排水流量計更新工事、下水道管路施設長寿命化計画策定業務

【農業委員会】

《報告事項》

■農地法及び基盤強化促進法による農用地集積状況

「農地利用集積計画」所有権
移転総数 62件

2万2千69坪

《協議事項》

▼平成28年度農業委員会補正予算

農林業費道補助金16万1千円

▼平成29年度農業委員会予算案について
主なもの

農地利用最適化交付金 59万4千円
▼農業委員公募の実施について

制度改正に伴い今年7月20日から活動していただける方の応募受付や期間等を確認しました。

▼▼▼3月9日開催

【農林部門】

《協議事項》

▼定例会追加提出議案について
J Aぴっぷ町が運営する穀類乾燥調製施設(ライスファクトリー)の増設に伴う事業補助金について協議しました。

1億6千285万円

【建設課】

《報告事項》

■比布町道路占用料徴収条例の一部改正条例について報告を受けました。

▼▼▼3月30日開催

【農林部門】

《協議事項》

▼第2回臨時議会提出議案について
J Aぴっぷ町が運営する穀類乾燥調製施設(ライスファクトリー)の増設に伴う事業の補助交付の支出内容や成果、継続的な課題等について協議しました。

1億430万円

■5町議員研修会■ 2月3日 上川町

上川管内議員研修会は持ち回りで開催していますが、今回は上川町の層雲峡の氷瀑まつりの視察と研修会を行いました。各町の特徴的な行政の交流ができると待ち遠しい研修会です。

風雪の強い日でしたが、氷瀑まつりは夕方からのライトアップがきれいで写真は幻想的です。海外からの若い観光客が大勢来ていました。こんなところにも氷瀑神社がありびっくりしました。そこで絵手紙を1枚描きました。

さすが観光の町上川町だと体験させていただきました。

その後の交流では、「どんな行政を推進しているのか」具体的な質問をじっくり話し、議員活動の悩みや自分のPRなどを歓談、終始なごやかな研修会でした。

遠藤 ハル子



◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

2 月

- 3日 上川中央部5町議会議員研修会
(上川町、各議員)
新幹線・総合交通体系対策特別委員会
道内調査及び意見交換会 (名寄市、議長)
- 7日 議会全員協議会 (役場、各議員)
産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第1回議会臨時会 (役場、各議員)
- 11日 たけうち英順新春の集い (美瑛町、議長)
- 16日 上川教育研修センター組合議会定例会
(旭川市、議長)
- 21-22日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 23日 上川町村議会議長会定期総会及び上川総合
振興局との行政懇談会 (旭川市、議長)
- 27日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 28日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)

- 11日 自衛隊入隊者激励会 (改善センター、議長)
今津ひろし政経セミナー (旭川市、議長)
- 12日 旭川比布同郷会総会並びに交流会
(旭川市、議長)
- 14日 第70回比布中学校卒業式 (中学校、全議員)
- 17日 第52回中央小学校卒業式 (中央小学校、全議員)
- 19日 旭川・紋別自動車道丸瀬布IC～
遠軽瀬戸瀬IC間開通記念式 (遠軽町、議長)
- 20日 民進党連舫代表を囲んで JR北海道路線
維持に向けた意見交換会 (旭川市、議長)
ささき隆博ふるさとの集い (旭川市、議長)
- 25日 くるみ保育園卒園式 (くるみ保育園、議長)
- 28日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)
- 30日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第2回議会臨時会 (役場、全議員)
宗谷本線活性化推進協議会における
意見交換会 (名寄市、議長)

3 月

- 1日 大雪浄化組合議会定例会 (愛別町、組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(愛別町、組合議員)
- 6~9日 第1回議会定例会 (役場、全議員)
- 8日 平成29年度予算特別委員会 (役場、委員・議長)

4 月

- 6日 中央小学校入学式 (中央小学校、全議員)
比布中学校入学式 (中学校、各議員)
- 14日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 21日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

お世話になります



議事係長 橋口 百合枝

4月1日付けの人事異動
で新しく議会事務局に着任
されました。
よろしくお祈りします。

平成29年度予算が執行され、一か月が経過いたしました。

町では、これまでも増して若手・中堅職員
の自由な発想と熱意・研究が重視され、小さいながらも今までに無い、新規事業が展開されようとしています。

行政機構も、地方創生の時代に即した体制整備のため、総務企画課内に、町内状況と各課を横断的に把握する『まちづくり推進室』が新設され、地域政策係と広報係、統計係(広報兼任)が、室内に改めて設置されました。

また、昨年完成した「駅舎」と「スキップ」さらに、今年は学校改築検討委員会の皆さんが、長期懸案とされた、中学校は2年の工期を充当し、中央小学校に併設する工事も着手され『地元教育一大拠点の構築』を目指します。

町民参加と総意のもと、始動したすべての取り組みと、不断の政策を積み重ね、地方型諸課題の解決と、近隣に際立つ地域の一面を照準とし、持続可能なまちづくりを着実に進めてまいります。(佐藤 康則)

◆ 編集後記 ◆